

〈ロゴマーク〉



〈デザインの趣旨〉

半世紀の歴史を歩んできた「君津市」を再認識できるよう、
シティカラーであるグリーンをメインに、
若葉色を組み合わせる若いまちから成熟したまちへの変遷を表現しています。

また「5」から上方に伸びゆくラインを三つのパーツで構成、
若い芽から成長し美しく咲く花（ミツバツツジ）を鳥の姿に重ね合わせてデザインし、
未来に向け更に飛躍する君津市を象徴しています。

その周りに配置した五つのイエローの粒は、
一つ一つが実りある10年間を表し、
鳥が種を運ぶようにこれからの希望あるまちづくりに向けての新たな礎となります。

グリーン・ピンク・ローズ・イエローの4色はきみびんカラーでもあり、
市の花であるミツバツツジのイメージとも連動しています。

いつも元気なきみびんと一緒に、
明るく心豊かな暮らしをみんなで協力して築いていけるよう、
親しみやすいマークを目指しました。